

掛軸の取扱い

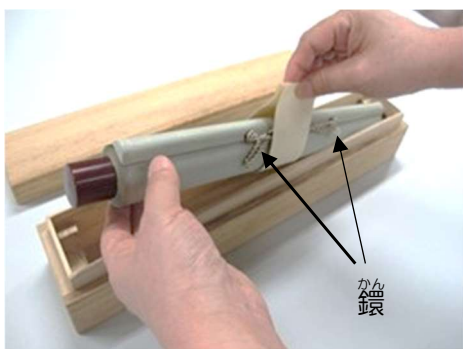
A. 掛け方



①片手で箱の下を押さえながら、もう片方の手で蓋を開ける。



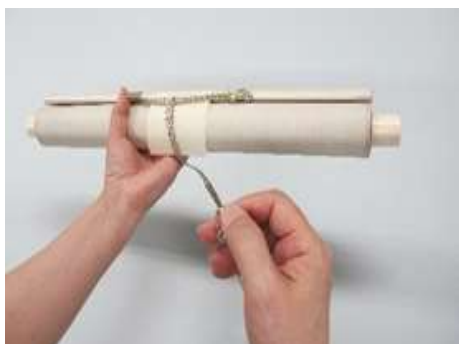
②蓋を脇に置き、包みを両手で持って掛軸を取出す。



③手がかりの紙がある場合は、それを片手で引上げて、もう片方の手で掛軸を取出す。包みや手がかりがない場合は、^{かん}ざしをつまんで取出す。



④掛軸を下から支えるように持ち、紐を引く。



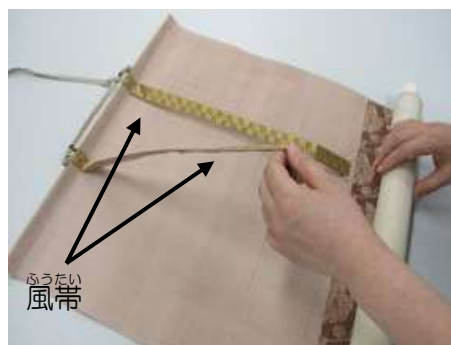
⑤巻紐を解く。掛軸は回転させず、紐の方を動かして解く。



⑥紐当てがあれば外す。



⑦巻緒を片側に寄せる。掛ける場の下手側に寄せる。



⑧清浄な机などの上で上部を広げ、風帯（ふうたい）を伸ばす。強い折れ癖がついているものは真っ直ぐにする。傷んでいる場合は無理に伸ばさない。



⑨矢筈（やはす）を掛紐に掛け、もう片方の手で掛軸の中心部を持つ。親指を上向きにし、下から支えるように持つ。



⑩壁面の掛具にかける。掛軸は強く握らないように注意する。



⑪水平にかかったことを確認し、矢筈を外す。矢筈は掛軸に倒れてこない場所に置くか、補助の人に渡す。



⑫両手で軸端を持ち、下までゆっくり広げる。

B. しまい方



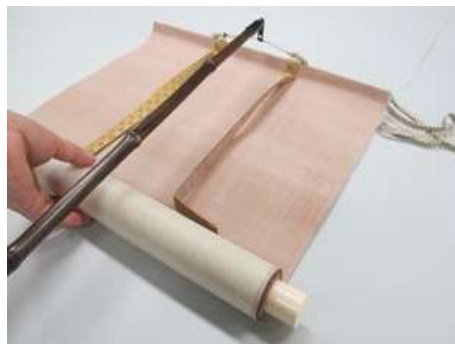
①両手で軸端を持ち、巻き上げる。
ズレが生じたら、机の上などに移動させてから修正する。



②両手が届く範囲まで巻く。



③片手で掛軸の中心部を、下から支えるように持ち、矢筈（やはす）で掛軸を外す。



④矢筈をかけたまま、清浄な机などの上に置く。



⑤風帯を折りたたむ。向かって左側の風帯からたたむ。



⑥紐当てがあれば、掛紐をくぐらせて巻く。

C. 巻紐の巻き方



①掛軸を持上げ、巻紐を左から右に巻く。掛軸を回転させず、巻紐を掛軸に沿わせるように巻く。



②3 回巻いて掛紐の上を通ったら、折返して掛紐の下をくぐらせる。



③掛紐の下から引出しながら、二つ折りにして輪の方を持つ。



④二つ折り部分を反対側に伸ばす。



⑤二つ折り部分を反対側の掛紐の下にくぐらせる。



⑥輪の部分と巻紐の端の長さを整える。